

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
外国語 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	2
担当教員	William Jackson			実務経験	有	職種	英語講師				
担当教員紹介											
英国にて英語を教えるための資格を取り、２０１０年から11年間日本で英会話講師として従事。小学生から大学生、大人まで、あらゆる年齢層に教えた経験があり、都内公立学校と私立学校の両方で働き、会話、文法、英語をそれぞれの学校に合わせたさまざまなスタイル、テスト、学習方法で指導している。											
授業概要											
講師の英語を聴きながらのテキストの読み合わせ。分からない単語のメモ。授業後、次の授業までに意味の検索。画像、映像視聴。ダンス授業・レッスンで使用される英語歌詞楽曲を活用しての授業。											
到達目標											
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。											
授業方法											
実用性のある英語を活用したコミュニケーション能力の向上。英語力習得の価値の理解。異文化に触れることでの多様性の理解。学校受験目的の勉強で起きてしまっている英語に対してのアレルギー反応の除去。技術の進歩によって、IQの向上よりEQの向上が合理的だと言うことの理解。（勿論IQ向上も大切ではありますが。）											
成績評価方法											
試験・課題レポート 成果発表 平常点	30% 40% 20% 10%	試験と課題を総合的に評価する 授業内容の理解度を確認するために実施する 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
課題提出締め切り日までに課題を提出すること。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
「A Plus」、その他の資料は授業ごとに配布する。											
回数	授業計画										
第1回	必要性ガイダンス、テキストChapter1の予習										
第2回	ガイダンス、画像・映像の視聴、テキストChapter1の実施										
第3回	ガイダンス、テキスト Chapter1の復習、Chapter2の実施										
第4回	ガイダンス、テキスト Chapter2の復習、Chapter3前半の実施										
第5回	ガイダンス、テキスト Chapter3前半の復習、Chapter3後半の実施										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
外国語 1	
第6回	ガイダンス、テキスト Chapter 3 後半の復習、Chapter4の実施
第7回	ガイダンス、テキスト Chapter4の復習、Chapter5の実施
第8回	ガイダンス、テキスト Chapter5の復習、Chapter6前半の実施
第9回	ガイダンス、テキスト Chapter6前半の復習、Chapter 6 後半の実施
第10回	ガイダンス、テキスト Chapter6後半の復習、Chapter7と8の実施
第11回	ガイダンス、テキスト Chapter7と8の復習、Chapter9の実施
第12回	ガイダンス、テキスト Chapter9の復習、Chapter10の予習
第13回	英語実技発表1
第14回	前半のまとめ
第15回	前半の振り返り